

一年間のふりかえり		徳波東保育所 令和7年3月
1	運営管理	職員間の連携を密にとりながら、飯塚市の保育理念、保育方針、保育目標等を達成するよう努めました。
2	守秘義務	保育業務の中で知り得た秘密情報については、全職員に守秘義務の徹底を図りました。
3	安全 危機管理	毎月の防災訓練(火事・地震・水害・不審者対応など)を実施し、研修や職員会議などで危機管理意識を高め合うことができました。また、保育中にケガが生じた場合は保護者に経緯や対応を説明し、職員会議等で反省及び保育の見直しを行うとともに環境の改善を図りました。 新園舎になったことで生じた不具合や修理箇所等は保育課や業者等と連携し、安全の確保を図りました。
4	保育環境	子どもたちが心地よく過ごせるよう保育所内の清掃を常に心がけ、また、活動に合わせ室内の温度、換気、照明等保育環境の整備に配慮しました。 子どもの活動、動線などを考え、おもちゃ棚などの配置に配慮しました。
5	健康 衛生管理	行事等においては部屋の広さから、人数制限をし、感染症のリスク軽減にも配慮しました。また、子どもたち一人一人の健康状態を把握し、その子の体調に合わせた保育に取り組みました。更に、健康診断により子どもの健康状況を保護者と共有しました。 インフルエンザや新型コロナ感染症が拡大した時は、各クラスや送迎口などにて掲示し、感染状況を知らせ注意喚起を行いました。
6	保育内容	「子どもの人権」に配慮し、一人一人を大切にしながら年齢と発達段階に応じた保育を実践しました。基本的な生活習慣については家庭と連携を取り、子どもの状況に応じて対応しました。
7	食育	食物の大切さを知るため3歳は豆苗、4歳は生活体験学校で落花生の収穫を体験、5歳児は夏野菜を栽培、生活体験学校でサツマイモの収穫体験の楽しさを味わいました。また、収穫した野菜を食べることにより食への関心を高めることができました。また、5歳は、出汁の味比べ体験を行い、いりこだし、かつおだし、昆布だしの違いを味わいました。
8	子育て支援	2園の保育所が統合することで、保護者とのコミュニケーションを大切にすることを心掛け、対応に偏りがないようにしました。子育ての悩みや不安等の相談に対応し、話し合いを行いました。 今後、一層、子どもたちが健全に育っていくよう意思疎通を図っていきます。
9	地域交流	公開保育の申し込みがあった際には、受け入れを行いました。(1件) 見学については、園舎内の案内と併せて、質問に答えました。 地域交流は年長児の絵の作品出展を行いました。また、つばき苑にて子どもと高齢者との交流会を行いました。 看護実習生の受け入れも行いました。
10	苦情報告	色々なご意見ご要望はありましたが、その都度真摯に受け止め、改善を図りました。第三者委員にまでいくような相談等はありませんでした。来年度も苦情につながらないよう、職員一同人権に配慮した保育を行っていきます。
外部評価		
<ul style="list-style-type: none"> ・保育環境において、子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育へつなげていることは大いに評価できる。 ・保育支援事業に対し、その目的をしっかりと捉えたうえで専門家の意見を取り入れ情報を共有しながら実践していることは評価できる。所長・主任が率先して進めていくことで職場の雰囲気をもさらに高めていって欲しい。 ・統合して新しく始まった保育所として職員が協力して業務を実践している姿勢が自己評価の中で確認できたことは評価できる。 ・公開保育等を活用し、これからの地域交流をさらに広げていって欲しい。 		
第三者委員(高崎 久代 ・ 松岡 えりこ ・ 城石 里恵)		